

益城町復興計画に基づく幹線道路及び地区計画の 都市計画決定に関する説明会の質問・回答

平成30年1月8日（月曜日）から1月10日（水曜日）
にかけて開催しました「益城町復興計画に基づく幹線道路
及び地区計画の都市計画決定に関する説明会」
でいただいたご質問・ご意見と県・町からの回答をご紹介します。

	ご質問内容	回答	対応者
1	（都）惣領木山線（益城菊陽線 区間）の計画断面図には歩道と 車道の上に植樹帯があるが、車 両から沿線の店舗等が見えにく くなるので、植樹帯を道路中央 に計画してはどうか。	道路中央に植樹帯を設置した場合、沿線の店舗や 住居へ車両が、右折により進入する位置が限られ ることとなります。ご意見にありました車両から の視認性については、沿道において土地を利用さ れる方と一緒に植樹の位置や樹種をご相談させ ただければと考えています。	県
2	県道益城菊陽線と町道グラン メッセ木山線が、（都）惣領木 山線となっているが、道路管理 者が変わるのか。	県道益城菊陽線及び町道グランメッセ木山線の一 部を、県が都市計画道路惣領木山線として都市計 画決定することとしておりますが、これは都市計 画法の運用ルール（国道又は県道が一部でも含ま れる区間の都市計画の手続きは県が行う）による ものであり、計画決定されることで、道路管理者 が変わる訳ではありません。	県
3	高速道路付近など、市街地西側 の道路網は計画されていない が、道路計画など検討されたの か。	本案は益城町復興計画に基づき、災害に強い幹線 道路ネットワークの構築と計画的な復興事業の推 進を図るため、新住宅エリアを含む市街地におい て、都市計画に位置付ける幹線道路の計画案を示 したものです。ただ、これらの道路だけで目指す 都市像が実現できるわけではなく、その他の道路 についても、各地区のまちづくり協議会の議論を 踏まえ、必要に応じて検討していきます。	町
4	（都）木山宮園線は、中心から 両側同じ幅ずつ道路を拡幅する のか。	両側への拡幅を原則としていますが、現道を最大 限に利用するとともに、取付ける道路の勾配が急 にならないようにするなど、様々な条件を検討し ながら計画しています。	県・町
5	現在、家の再建を止めている状 況。個別の相談に対応してもら えるのか。	個々の御事情につきましては、お手数ですが県・ 町へご相談いただきますようお願いいたします。	県・町

6	<p>惣領交差点から惣領橋までの区間の2/3くらいが狭くなっているが、この区間は整備もしくは都市計画決定しないのか。</p>	<p>一般的に市街地エリアにおいて、他の都市計画道路とネットワークを形成し、機能する道路を、都市計画道路として位置付けています。 ご指摘の道路は、市街地と市街地以外を結ぶ道路であるため、整備を行う場合は都市計画道路としてではなく、通常の県道の改良事業として取組むことが、妥当と判断しています。 なお、ご質問いただいた区間は、地元から整備についてご要望をいただいております、町と検討をしているところです。</p>	県
7	<p>町道グランメッセ木山線から空港につながる農免道路があり、一部だけ200m程道が広がっていない区間がある。今回この区間を同時並行で整備することはできないのか。</p>	<p>農免道路の未整備区間については、熊本地震前から計画の検討を行ってまいりましたが、用地取得関係の課題や、熊本地震もあり、現在は止まっている状況です。用地取得など今後進めてまいります。</p>	町
8	<p>都市計画決定はいつごろになるのか。</p>	<p>益城町では、町の都市計画審議会を経て、平成30年3月の都市計画決定を目指しています。県も町の進捗状況に合わせて、手続きを進めていくこととしています。</p>	県・町
9	<p>優先整備する区間に（都）益城東西線があるが、時期的にどれくらいになるのか。その間、住んでいる住民はどうすればよいのか。</p>	<p>道路整備は多額の予算が必要な事業であり、町の職員数も限られている状況であるため、早期に取組む必要があると提案している箇所も含めて、着手の時期は今のところ未定です。 また、自宅がどうなるのか等については、個別に相談をお受けいたします。</p>	町
10	<p>県道である（都）木山宮園線の整備は、（都）益城東西線よりも先になるのか。</p>	<p>県道の整備時期については現在未定です。まずは県道熊本高森線の4車線化をいち早く進めるよう、注力しているところです。 また町道についても、できるだけ早く整備すべきと考えておりますが、全てを一度に整備することは難しい状況であり、優先順位等は皆様の意見を伺いながら検討してまいります。まずはこの道路計画について、ご意見をいただきたいと考えております。</p>	県・町
11	<p>整備時期が決まっていないのに、説明会を開催するのか。</p>	<p>今回の説明会は、将来の幹線道路の姿を皆様にお示しし、同じ将来像を皆様と共有してまちづくりを進めていくためのものです。 整備にあたっては予算を確保しながら、一日も早く進めていく必要があると考えており、まずは町が提案した取組む必要がある箇所について進め、その他については、現時点では実施時期は未定です。</p>	町

12	<p>町道グランメッセ木山線と（都）南北線との交差点がなぜ益城ファーマーズビレッジ付近になったのか。ひろやす荘あたりに交差点を設ければもっと短くなったのでは。</p>	<p>（都）南北線の決定にあたっては、複数のルートを検討しました。まず最短距離で町道グランメッセ木山線と交差する場合、道路の勾配が急になり、鉄砂川を横断する施設が必要で、さらに高低差があるため、沿線の土地利用も難しくなります。またご質問のとおり、ひろやす荘付近に交差する案も検討しましたが、交差点を設けるために必要である、安全な道路勾配が確保できませんでした。最終的に、安全な交差点ができ、沿道との高低差が少なく、土地利用も図りやすい本案を最適案として計画しました。</p>	町
13	<p>ある程度で構わないので時間軸を示してほしい。先のことになると思うが、道路の路線ごとに、具体的な説明の場を設けるなどしてほしい。</p>	<p>都市計画とは、地域の方々と行政が目指すべき都市の将来像を共有し、ともに実現に向けて取り組んでいくために、長期的視点にたって定められるものです。ただ一方で生活再建など影響を受ける方も多く、時期をお示ししたうえで事業を進めることができると考えているところです。町が考える取組む必要がある箇所については、説明させていただきましたが、今後、どの路線をどう整備するかなど、皆様のお話をしっかりと伺いながら、時間軸も含め検討してまいります。</p>	町
14	<p>事業費の総額について、現状の目安でよいので教えてほしい。また、国からの事業費補助の比率はどれくらいか。</p>	<p>事業費は道路の構造や移転が必要となる建物の数などが確定しないとお示しすることができません。現時点では、道路の位置や幅を都市計画の案としてお示ししている状況であり、今後、計画を決定し、事業認可を取得する時点で、構造や事業実施時に現存する建物の数等も確認して算定します。また、街路事業の国の率は、町事業の場合は55%、県事業の場合は60%です（説明会では、町事業の場合が60%と回答しましたが、訂正します）。</p>	町
15	<p>町道グランメッセ木山線と（都）南北線との交差点について、グランメッセ木山線を北側にずらしてカーブを緩やかにすれば、南北線との交差点をひろやす荘の西側に配置することが可能では。道路の延長が短くなるので、その費用でグランメッセ木山線のカーブ改良ができるのではと考えた。そのような検討はされたのか。</p>	<p>（都）南北線の決定にあたっては、複数のルートを検討しました。ご提案いただいた案については、カーブを緩やかにしても交差点部における安全な道路勾配が確保できないことから、現在お示ししている案を都市計画案としました。</p>	町

16	説明会で配布された資料の文字等が小さくて見えない。弱視の方もいらっしゃると思うが配慮されたのか。	配慮が足りなかった部分があり申し訳ありません。ご指摘はしっかりと受け止め善処して参ります。	県・町
17	(都) 木山宮園線について、井関から、第二空港線に接続するまでの道路は、計画に含めることができなかつたのか。	今回は、県道熊本高森線の4車線化を中心軸とした、市街地部の道路ネットワークを構築する道路を、都市計画に位置付けるために計画案をお示しました。その他の道路整備については、まちづくり協議会等の意見を伺うなどし、必要なものについては、通常の道路改良事業で取組んでいきます。	町
18	県道熊本高森線や区画整理など、いくつも都市計画決定があるが、あとのどのくらい計画しているのか。	現在、計画としてお示ししているのは、県道熊本高森線と今回の幹線道路網、木山地区の土地区画整理事業、そしてそれと関連する用途区域及び地区計画の変更に関するものです。その他についても、復興計画に基づいて必要なものは、検討してまいります。	町
19	今回の都市計画道路は区画整理と同様に、否決されることはないのか。	災害に強いまちには必要なものであり、委員にもご理解いただけるよう、しっかりと説明し、ご意見をいただきながら前へ進めてまいります。	町
20	(都) 木山宮園線と(都) 益城東西線の交差点はどのあたりになるのか。	中園クリニックがある付近です。	町
21	木山交差点付近は歩道がほとんどない状態なので、高齢者や子供の通行に危険がある。暫定的な歩道でもよいので整備してほしい。	木山交差点付近の歩道については、危険箇所と認識しております。ただ暫定であっても、用地の御協力が必要となるなど、この場で返答はできかねます。ご要望として承ったうえで、検討してまいります。	県
22	(都) 木山宮園線は町のメインストリートになる。なぜ植樹帯がないのか。	植樹帯については、設けるべきという意見と、設けるべきではないという意見があり、様々です。本説明会や縦覧を通じて意見をいただきたいと考えております。	町
23	(都) 第二南北線について、説明ではコスモス薬局付近と言われたが、地図では本田商店から北に向かうようであるが。	本田商店の近くが交差点位置です。	町
24	道路用地がかかり、細長い土地が残るようなケースも出てくると思うがそういった方への対応は決まっているのか。	地権者の方への補償については、用地補償基準によって定められています。土地利用ができないような残地が発生する場合は、残地補償という方法があります。詳しくは、個別にご相談いただければありがたいです。	町

25	都市計画道路を決定するに至る経緯が分からない。	<p>益城町の市街地は、県道熊本高森線を単一軸として無秩序に市街地が拡大した結果、密集市街地を呈しており、交通渋滞対策や、歩行者・自転車の安全な通行空間の確保が、まちづくりの課題となっています。</p> <p>併せて熊本地震では、町の中心軸である熊本高森線をはじめ、市街地内の多くの道路が建物倒壊により通行不能となり、避難や救急、復旧活動の妨げとなりました。</p> <p>地震により甚大な被害を受けた益城町では「益城町復興計画」を策定し、災害に強いまちづくりを推進するために、災害時にも機能を発揮する幹線道路ネットワークの構築を目指しています。</p> <p>今回の道路計画は、市街地内において災害に強い幹線道路として、県及び町で検討した案であり、かねてからの課題を解決し、都市の活動を支える重要な都市施設となりえることから、皆様のご意見を伺い、その結果を基に都市計画決定を目指すものです。</p>	町
26	(都)南北線と(都)第二南北線を整備する必要があるのか。	<p>南北線と第二南北線は、4車線化に取り組んでいる県道熊本高森線に接続する道路として、東西を県道益城菊陽線に挟まれた間に配置しております。</p> <p>この路線を整備することで、益城町復興計画に位置付けられた新住宅エリアを計画的に開発することが可能となり、また、熊本高森線へのアクセスを確保し、該当地域の方が安全に熊本高森線に合流できるなど、町全体の利便性が向上すると考えています。</p>	町
27	県道熊本高森線4車線化の進捗状況を教えてほしい。木山地区は測量が止まっているとも聞いているが。	<p>現在、道路の設計が終わり、10月から用地交渉に入らせていただいております。用地交渉の中で、道路にかかる建物等の調査も、併せて進めています。</p> <p>木山地区は、区画整理事業が予定されているので、道路整備は区画整理で取り組むということで、測量作業等は行っておりません。</p> <p>ただ、道路の幅を知りたいとおっしゃる方もおられるので、その様な方には個別に対応させていただいております。</p>	県